

# 大田市立病院 実習プログラム(例)

基本実習時間 AM 8:30～12:00 PM 13:00～17:15		開始前: プリアセスメントの実施(実習申込書提出・学習目標、オプション調査等)、SLACKの登録				
		指導医: 木島 庸貴(総合診療科)		選択オプション学習: 当直実習(～22:00) 泌尿器科、外科		
週	時間	月	火	水	木	金
第1週	A M	宿舎入居 院内オリエンテーション 電子カルテ操作説明	7:30～8:30 早期勉強会 8:30～ 初診外来	池田診療所実習	【オプション学習】 泌尿器科 外来	総合診療病棟カンファレンス  病棟実習
	P M	カルテの記載 医療面接・バイタルサイン 身体診察レクチャー 心電図問題チャレンジ	病棟実習 チーム回診	病棟実習	14:00～15:00 大学レクチャー (ZOOM: 牧石Dr.) 17:15～ 医局会挨拶	地域医療連携室訪問 地域包括ケアシステム座学 大田市地域福祉推進支援機関 実務者会議 (15:00～17:00 市民センター)
第2週	A M	8:00～ 内科カンファレンス 病棟実習 10:00～ 院外薬局見学	7:30～8:30 早期勉強会 8:30～初診外来	救急外来	総合診療科 外来 NST(栄養サポート)回診	総合診療病棟カンファレンス  救急実習
	P M	病棟実習	病棟実習 チーム回診	救急外来 15:30～ 総合医セミナー 『わかる! 胸部聴診』 (高橋Dr.・濱口Dr.)	病棟実習 14:00～15:00 大学レクチャー (ZOOM: 牧石Dr.)	救急実習 16:00～17:00 振り返り (ZOOM: 牧石Dr.)
第3週	A M	8:00～ 内科カンファレンス 【オプション学習】 泌尿器科 外来	7:30～8:30 早期勉強会 (心電図読み解き担当) 8:30～初診外来	池田診療所実習	【オプション学習】 外科 外来	総合診療病棟カンファレンス  病棟実習
	P M	【オプション学習】 泌尿器科 手術 16:00～英語医療面接 (ZOOM: ルンド大/マルガリータDr.)	病棟実習 チーム回診 14:00～15:00 家庭医レクチャー (ZOOM: 出雲市民/高橋Dr.)	リハビリテーション見学 「OT・PT・STの役割」 病棟実習	【オプション学習】 外科 手術 当直実習(～22:00)	病棟実習 16:00～17:00 振り返り (ZOOM: 牧石Dr.)
第4週	A M	8:00～ 内科カンファレンス 【オプション学習】 外科 外来	7:30～8:30 早期勉強会 8:30～初診外来	救急外来	【オプション学習】 産婦人科 外来	全体総括
	P M	【オプション学習】 外科 手術	病棟実習 チーム回診 14:00～15:00 家庭医レクチャー (ZOOM: 浜田/佐藤Dr.)	スライド最終調整等 17:00～実習報告会	移動日・宿舎退去	全体総括

## 【オプション学習】(1クール中3つまで)

当直実習(～22:00or翌8:30)、泌尿器科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、消化器内科、麻酔科、神経内科、循環器科、皮膚科、呼吸器内科、内分泌代謝科、市内診療所(大田シルバークリニック)、訪問リハビリ同行、一日研修医体験

## 【基本方針】

総合診療科の指導医の下で一貫した教育を受ける。患者に対して、適切な臨床推論を行いながら問診・身体診察を行う。患者の問題点を適切に抽出しながら、患者の評価及び方針を立て、プレゼンテーションを実施しながら診療に携わる。

また、学習者は、救急外来などでの基本的な手技の取得、総合診療科以外の診療科での学習(入院した患者のリハビリテーション)も行い、さらに地域医療連携室、病院外の医療・介護・保健・福祉に係る職種や施設などの機能についての理解を深める。

## 【プログラムの特徴】

### ◆個人にあわせた柔軟なスケジュール

・学習を毎日記録し、指導医からフィードバックを受ける。週の終わりには学習の振り返りを行い、次週における実習の変更(修正)について検討する。

### ◆実践で基本的手技・総合的診療能力とプレゼンテーション能力を磨く

・外来・救急・病棟において日々、患者の診察を行いSOAPIに沿って診療録の記載を行う。  
鑑別疾患を列挙しながら、適切な問診及び身体診察を実施し、検査の流れや今後の方針を組み立てる。  
・救急・病棟において、静脈血及び動脈血採血、静脈ルート確保、モニター装着(結果の解釈及び対処を含む)、超音波検査などを実施する。  
・様々なカンファレンスやチーム回診などに参加。外来・病棟において指導医及び他職種に対してのプレゼンテーションを行う。  
・早期勉強会や総合医セミナーなどを積極的に開催し、総合診療における知識の底上、強化を行う。  
・最終週には実習報告会を実施。PowerPointを用いて症例報告や学習のまとめなどを研修や上級医の前で発表する。

### ◆多職種連携や地域包括ケアシステムを学び、医師の役割を理解する

・総合診療科以外の実習も、短期で実施可能。(オプション学習の選択)診療科間の連携、チーム医療を学ぶ。

## ■実習内容詳細

診療実習	初診外来	問診、バイタル測定、カルテ記載、プレゼンテーション、担当患者受け持ち(入院時)
	病棟実習	患者の診察、カルテ記載、プレゼンテーション
	救急外来	診察へ参加し、検査方針・今後の流れをプレゼンテーション、カルテ記載、担当患者受け持ち(入院時)
	総合診療科外来	問診、バイタル測定、カルテ記載、プレゼンテーション
	チーム回診	内科医師によるチームでの回診に同行する。
	池田診療所	三瓶町池田にある診療所へ同行。へき地診療所診察に参加する。
カンファ	総合診療カンファレンス	総合診療医、リハ医、看護師等が参加。担当入院患者の治療方針等のプレゼンテーションを行う。
	内科カンファレンス	内科医師によるカンファレンス。担当入院患者の治療方針等のプレゼンテーションを行う。
※多職種連携	地域医療連携室	地域包括ケアシステム、ケアマネなど介護に関する職種について学ぶ。地域福祉に関わる会議や患者家族説明に同行。
	NST回診	栄養サポートチームによる回診へ同行する。
	薬局見学(院内外)	院内・院外薬局を見学し、仕事内容や役割を理解する。疑義照会時に実際どのようなチェックが行われているかを学ぶ。
	リハビリテーション見学	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 それぞれのセラピストの役割について学ぶ。
勉強会等	早朝勉強会	毎週火曜日、朝7:30より英語論文の抄読と心電図問題の読み解きを行う。医師・研修医も参加。
	総合医セミナー	大田総合医育成センター医師を中心とした医学生向けセミナー。国試対策、シミュレーターを使った手技訓練等を行う。
	実習報告会	PowerPointを用いて症例報告や学習のまとめなどを発表する。発表15分、質疑応答5分。

※必須実習。期間中1回以上実施する。

## ■実習場所

大田市立病院、池田診療所、大田市民センター、市内診療所(オプション選択時:大田シルバークリニック)

## ■開始前準備・初日の集合場所

実習開始前に実習申込手続きやオプション希望調査を行う。その後、臨床研修推進室スタッフより詳細スケジュール、駐車場・宿舎案内、服装、準備物等を連絡。実習初日は8:25に大田市立病院正面玄関に集合。宿舎入居後、院内オリエンテーション、電子カルテの操作説明を行う。

## ■周辺環境

駐車場付学生宿舎完備(徒歩1分)、院内売店(平日:7:00~20:00/土日祝:7:00~19:00)、敷地内カフェレストラン(平日8:30~15:00)コインランドリー、スーパー、コンビニ(車で5~10分圏内)

## ■連絡先

実習プログラム連絡先

### 大田市立病院(おおだしりつびょういん)

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3 臨床研修推進室 担当:中島(なかしま)

TEL:(0854)82-0330 FAX:(0854)84-7749 メールアドレス:y.nakashima@ohda-hp.ohda.shimane.jp

HPアドレス:http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp/ HP、Facebookにて活動発信中

HP QRコード



## ■病院紹介

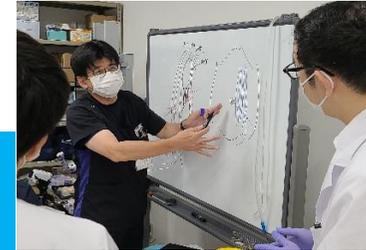




## 大田市立病院



## 新・大田市立病院 令和2年5月より開院



病院長	西尾 祐二
住所・連絡先	〒694-0063 島根県大田市大田町吉永1428番地3 電話 0854-82-0330 FAX 0854-84-7749

### ■概要

- 診療科** 全20科  
内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器外科、心臓血管外科
- 医師数** 常勤医 40名(うち初期研修医7名)
- 病床数** 全229床(一般病床180床、療養病床45床、感染症病床4床)
- 特色・理念**
1. 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
  2. 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
  3. 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
  4. 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
  5. 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
  6. 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

### ■主な診療機能

救急医療機能(第2次救急医療機関)、災害拠点病院、地域医療拠点機能、療養型病床群、リハビリテーション医療、人工透析機能、人間ドック、医療相談機能、重症難病患者入院施設確保事業協力病院、エイズ対策協力病院、第2種感染症指定医療機関 4床、島根県地域リハビリテーション支援センター、基幹型臨床研修指定病院、訪問看護ステーション、原子力災害医療協力機関

### ■メッセージ

大田市立病院は島根県央の中核病院として、急性期医療、回復期医療、救急医療、小児・周産期医療を担っています。救急車は年間約1300台、6000人の救急入院を受け入れています。令和2年5月に新病院が229床でオープンしました。規模はやや縮小しましたが医師数は大きく増加、診療機能の向上が図れました。新規事業として、三瓶地域への出張診療も開始、地域医療の維持にも寄与しています。当院での実習では、地域医療を担う病院のアクティブな様を実体験できるとおもいます。

当院の特徴の1つとして、H23年から大田総合医育成センターが設置され、総合医育成や初期臨床研修医の教育を中心に担っています。現在、当院には初期研修医7名が所属し、臨床研修に励んでいます。医局は総合医局であり、診療科間の垣根も低いため、いつでも他科医師に相談できる環境があります。実習は体験型実習が基本です。地域医療を広く実体験したい人を待っています。

大田市立病院 院長 西尾 祐二